

## 歩道の維持管理作業（補修等）作業計画に対する

### 登山道技術指針運用・活用ワーキンググループ意見（事務局まとめ）

計画者：合同会社北海道山岳整備・上川総合振興局 担当：岡崎哲三

事務局受付：平成30年8月14日

#### （自然景観への配慮）

○対象地は特別保護地区および天然記念物の範囲内であるため、施工方法、施工後の景観、周囲の環境への影響に配慮が必要です（愛甲委員）。

#### （一般公募に伴う計画内容の明確化）

○一般公募を行い、作業の範囲、作業の量、作業の参加者数が比較的となるため、補修の品質の管理、指導体制、作業時の配慮事項なども計画書上明記するようお願いします（愛甲委員）。

#### （計画書の記載について）

○対象地の傾斜が分かるように、図に傾斜（測定していれば）か等高線を記入をお願いします。あわせて縮尺も記入をお願いします（愛甲委員）。

○2017年に実施した補修のメンテナンスも今回の作業内容に含まれるのであれば、2017年に行った補修の内容および補修後の植生回復状況なども記載をお願いします（愛甲委員）。

#### （雨水の流入及び土砂の流出について）

○7月の豪雨で計画地を大量の水が流れた際は、①融雪水が地下水脈を通り当該地の歩道に流れ出た、②ポン黒付近に降った雨が地下水脈を通り当該歩道に流れ出た、③歩道の周りに降った雨が直接歩道に流れ込んだことが原因と考えます。当該地では、③歩道の周りの雨水が歩道上に入り込まない措置も必要なのではないかと考えます（濱田委員）。

○登山道の地盤が細かい砂状の為、登山道脇に土嚢を積み上げることは、砂の流出防止に結びつかないと考えられます（濱田委員）。

○土砂の流出を止められないのであれば、流出土砂を堆積させるための水制（バープ工等の河川工法）を試みてはどうでしょうか（藤委員）。

※事務局注…バープ工とは河岸から上流側に向けて突き出して設置する水制の一種で、流れに運ばれてくる砂を溜めて寄り洲をつくるものです。計画書No.3のうち「水みち」と「施工予定箇所」（土嚢の土留め）が垂直ではなく水平に近い形で交差するものは、このバープ工に相当する機能を有するかもしれません。

参考ホームページ<[https://www.pwri.go.jp/team/kyousei/jpn/research/m3\\_04\\_48.htm](https://www.pwri.go.jp/team/kyousei/jpn/research/m3_04_48.htm)>

#### （施工内容：土砂の採取）

○大規模に土砂の採取を周辺で行うのは好ましくないとの観点から、数多くの土嚢に詰める土壌は流出したのみで足りるか、不足する場合はどこからどの程度を採取するのかを計画書上明らかにしていただけますようお願いします（愛甲委員）。

#### （施工内容：土嚢の積み方）

○昨年施工した土嚢の積み方が急な感じがしましたので、もう少し緩やかに積み上げるようにするのは

いかがでしょうか（濱田委員）。

○土嚢又はヤシロールの下が流されて崩れているので、地盤を一段掘り下げてから土嚢を積み上げると崩れていく防止になるのではないのでしょうか（濱田委員）。

※その他、渡辺委員からは、昨年度から既に作業がなされている場所なので、大きな問題は特にないのではないかとの趣旨のコメントを頂いています。